



R18

漫画:kyou-kiyo



本作品の特徴

- ・ 主人公が可哀想(;□;)
- ・ 綺麗ではない
それぞれの愛の形
- ・ エロシーン多め



ご注意

- ・ R-18
- ・ 暴力的な表現が多々あります
- ・ ハッピーエンドかはわかりません
- ・ 作中の吸血鬼の設定は
独自の設定です



僕は
飢えているのかも
しれない

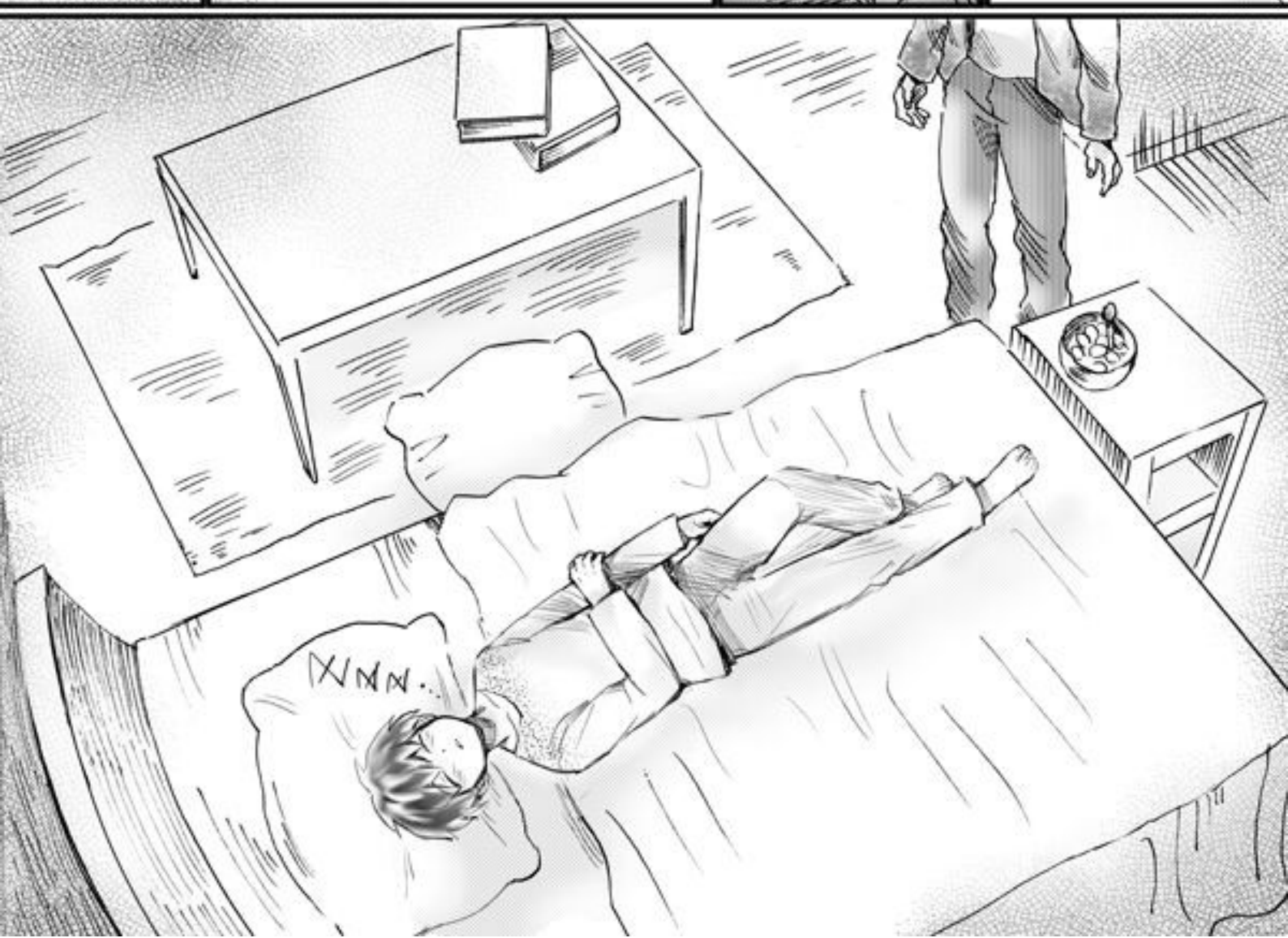


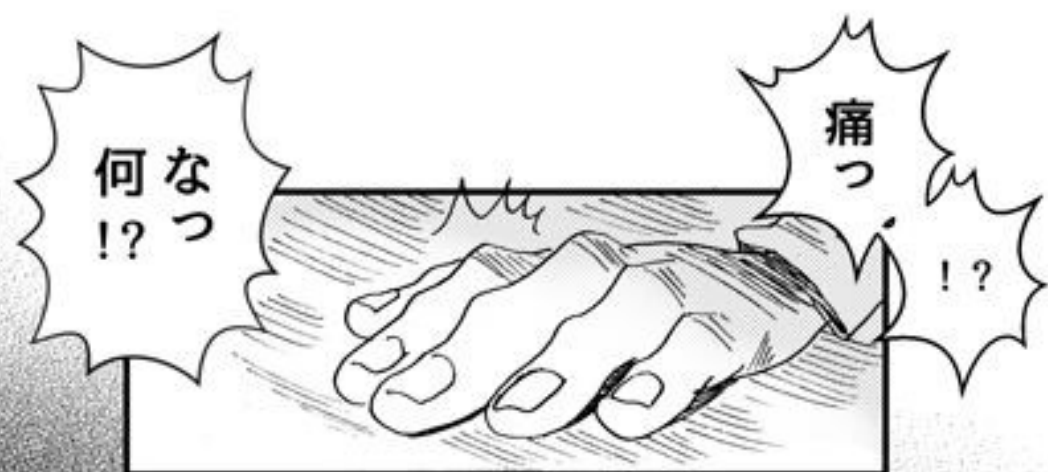
君と
同じ様に

血にむじ



















な、何だこの感覚



何で

頭が

回らない



それに
脈打つ音がうるさい……

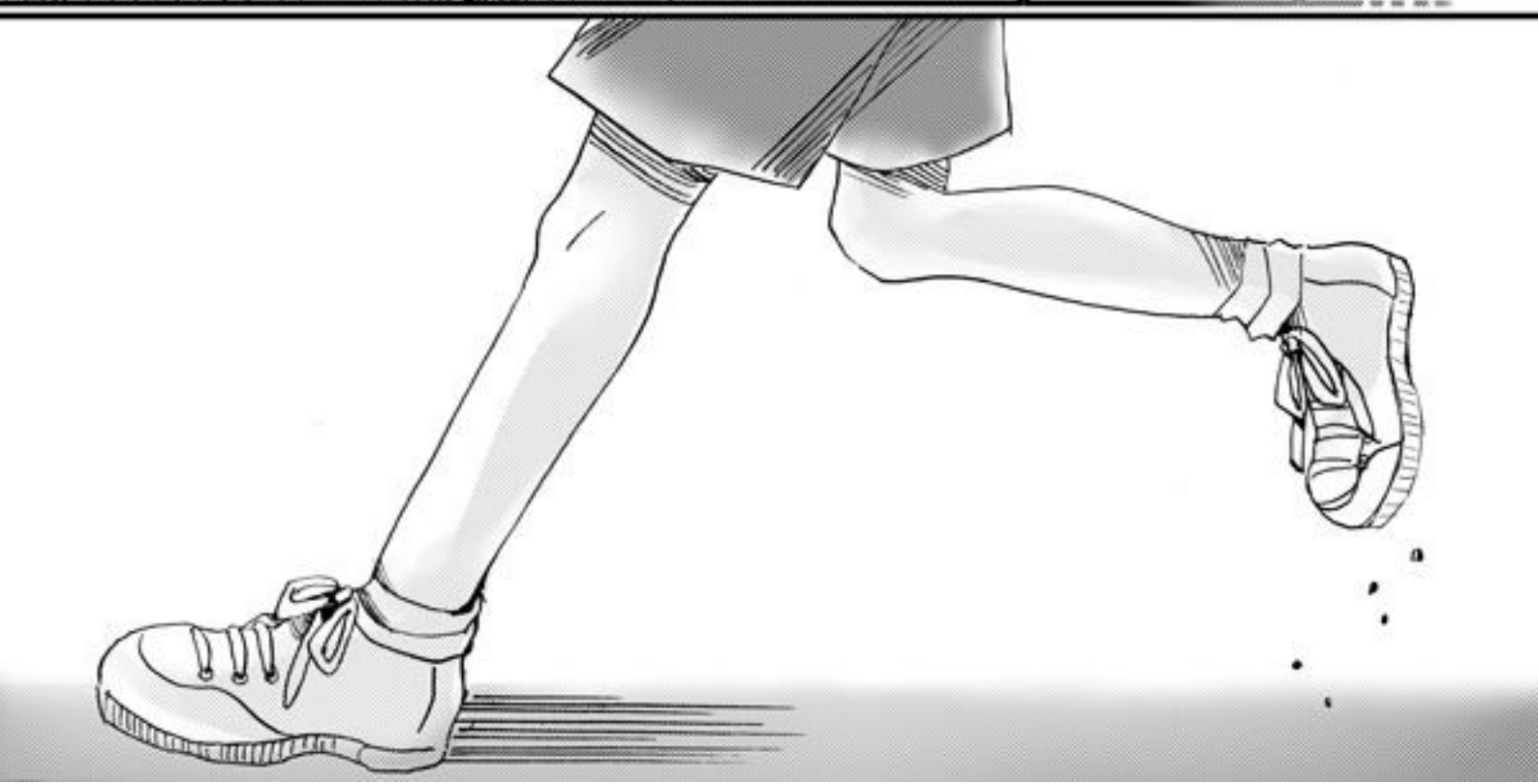
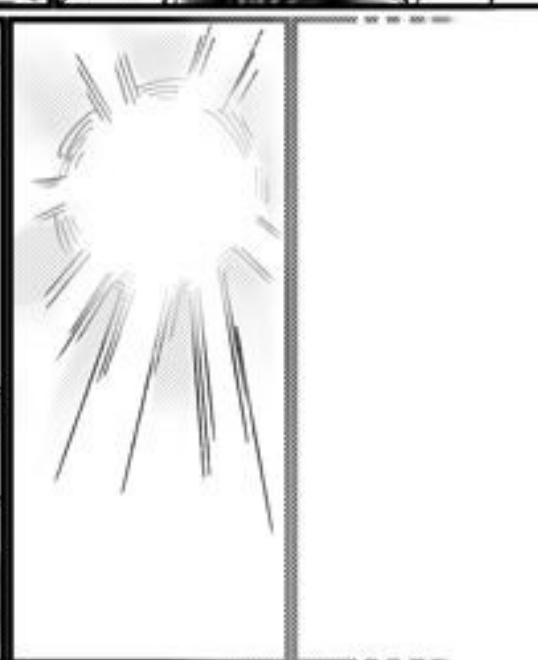


目の前がぐるぐるする



噛まれたせいかな……？

訳がわからない……



それは
ちよつと昔の事

はあ

はあ

体育の時…

はあ

はあ

足が痛い

もう
走れない

誰もいないし

とほ
とほ

皆ゴール目指して
行っちゃったんだろうな…

ヤギリ…君

どうして…







なのに
……



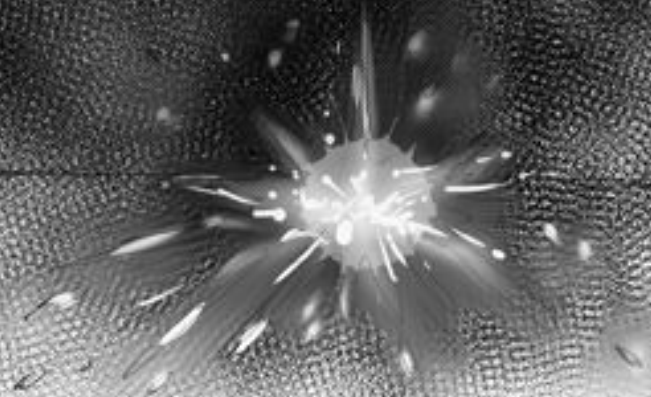
どうしちゃったの
ヤギリ……？

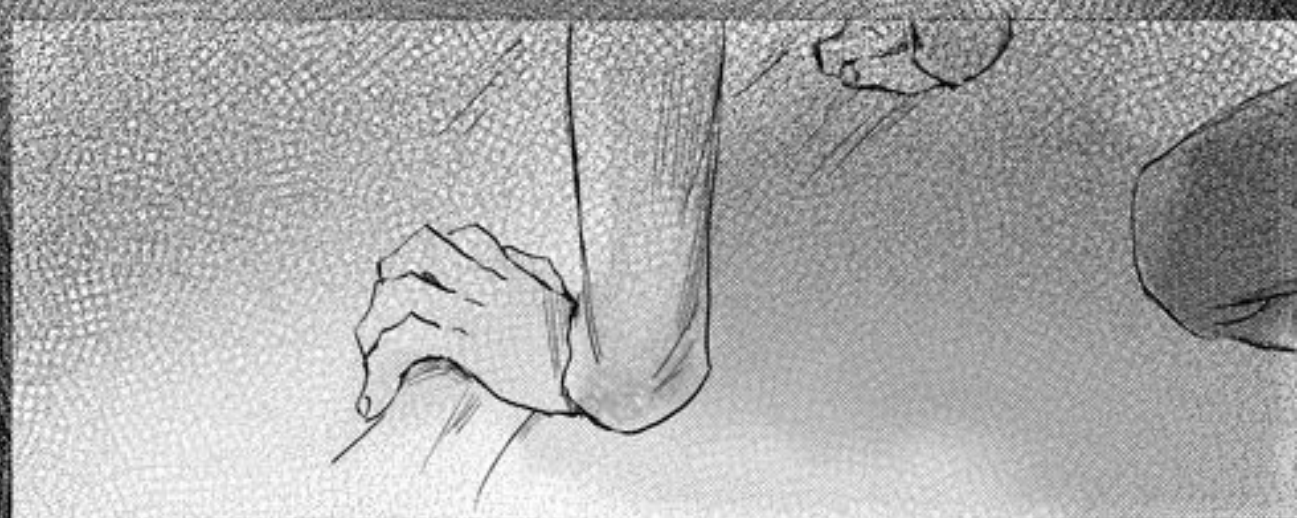
前と
変わっちゃっ
たの？



俺は

何も
変わってない





な、何…？

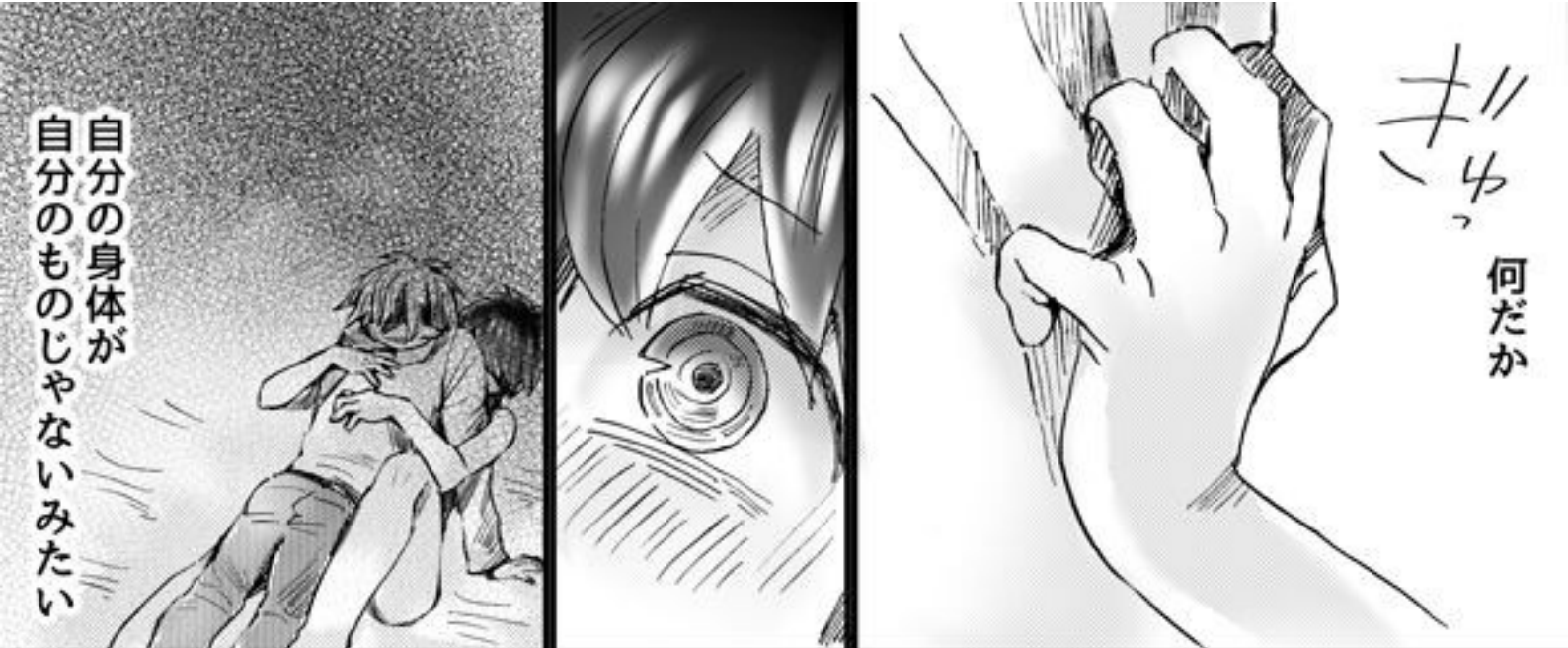
っ

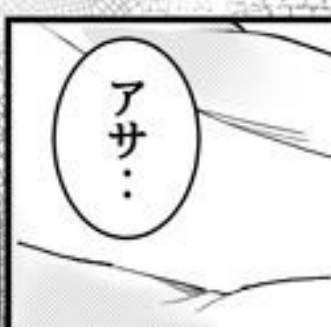




お、
何だか

自分の身体が
自分のものじゃないみたい



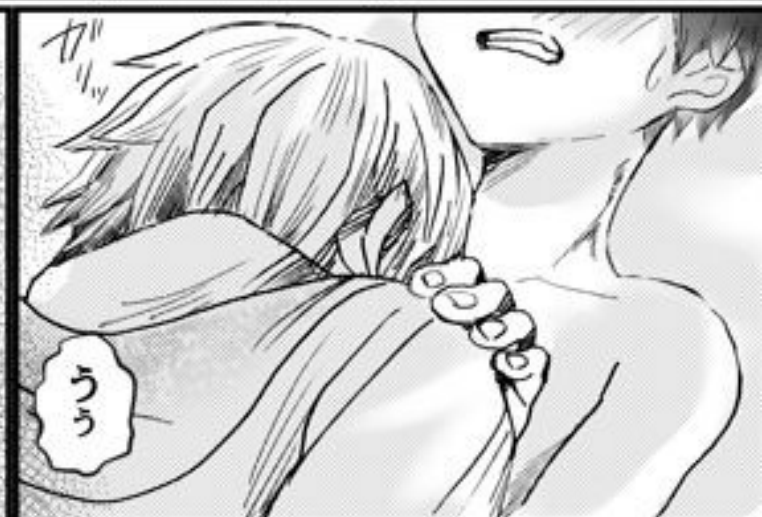


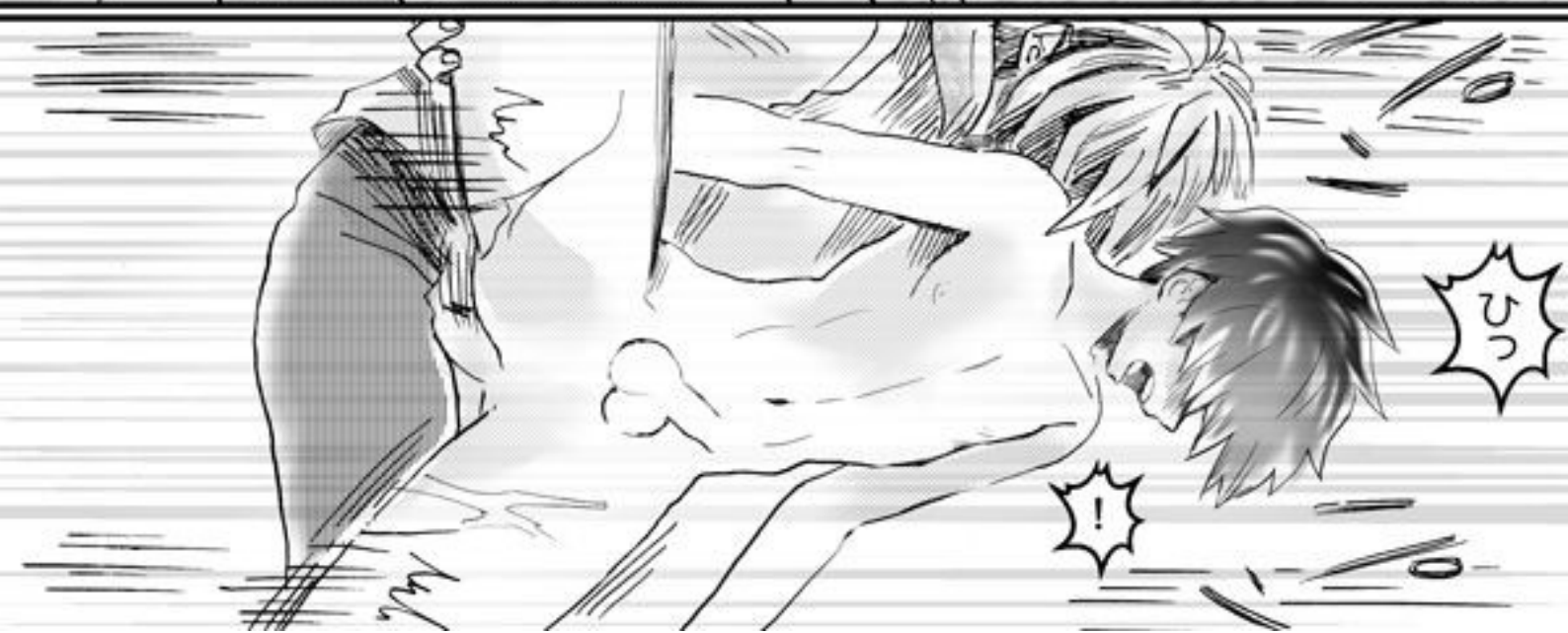
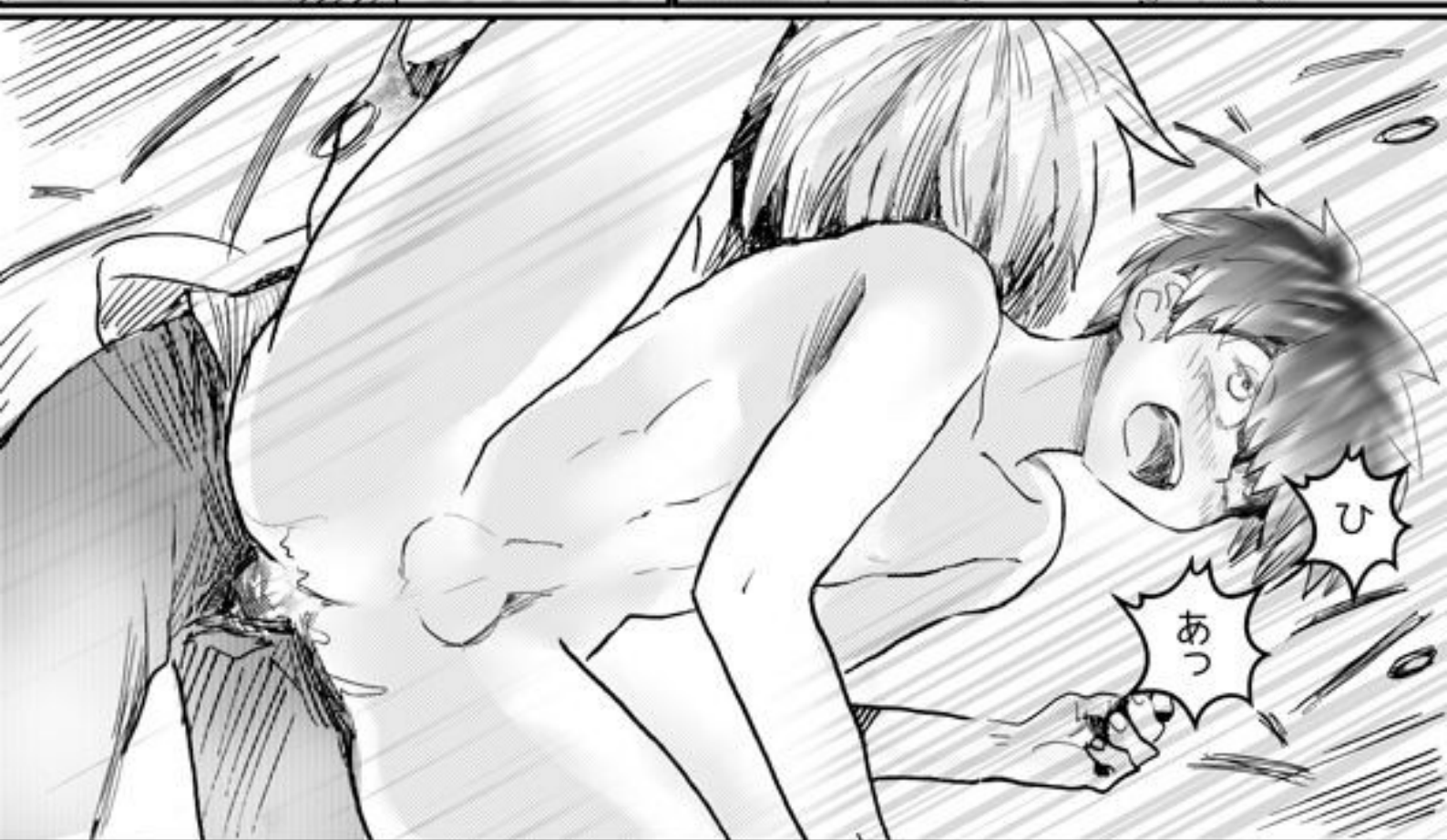
だから俺は

本能に
逆らえない

興奮を
抑えられないんだ

え？











普通なら
怒るぞこれ
……



あちこち
血は吸うし
それに……
アレ……するし……



久しぶりに
会えたのに

うう



吸血鬼
なの……？



大丈夫なのか
体温は冷たいし……
牙も生えてるし
君は本当に……

ヤギリ……



!!
だ、だとしたら
僕も

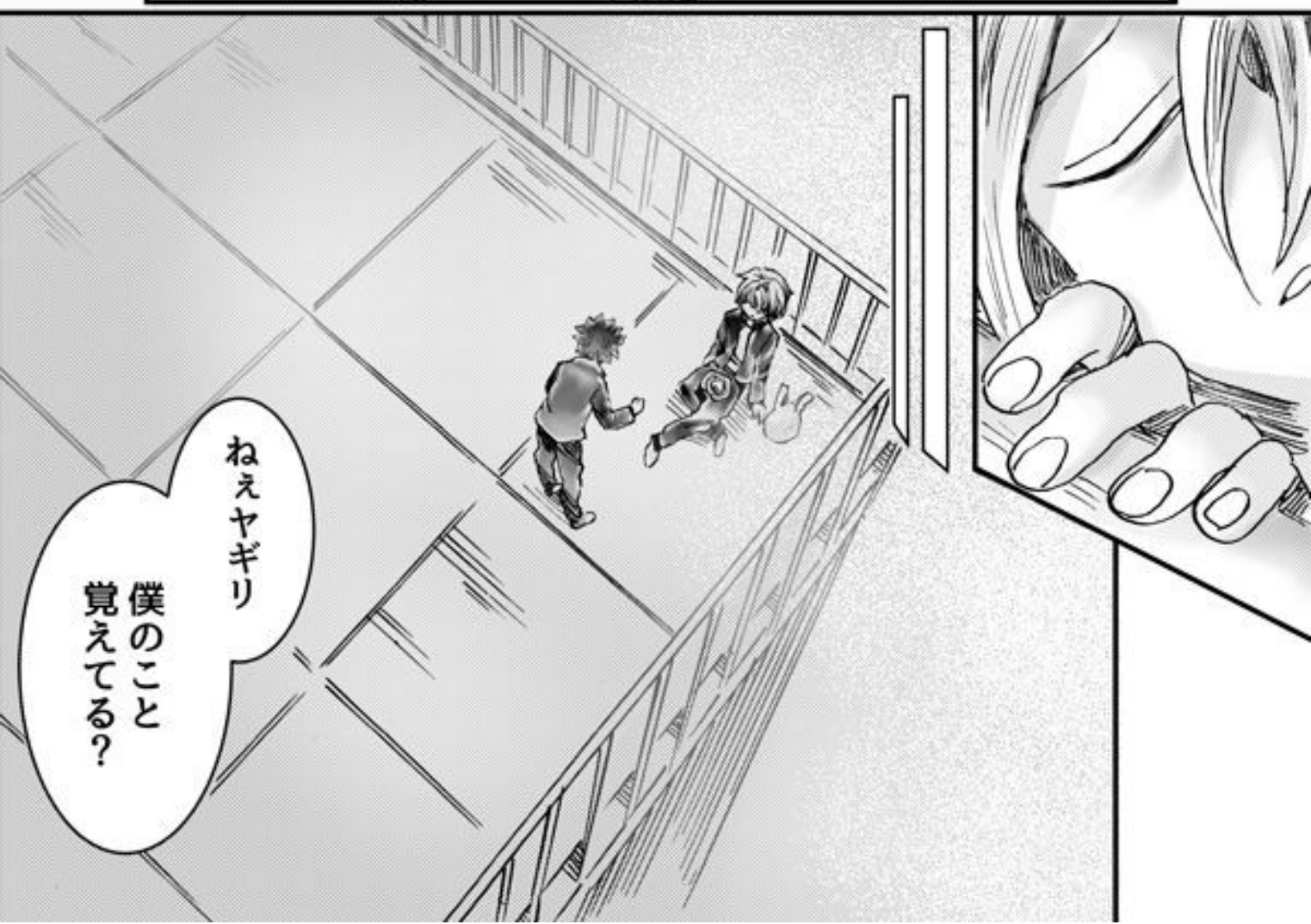




僕はバカ
なのかも：



こんな事があっても
僕は：





あ、
ありがとう

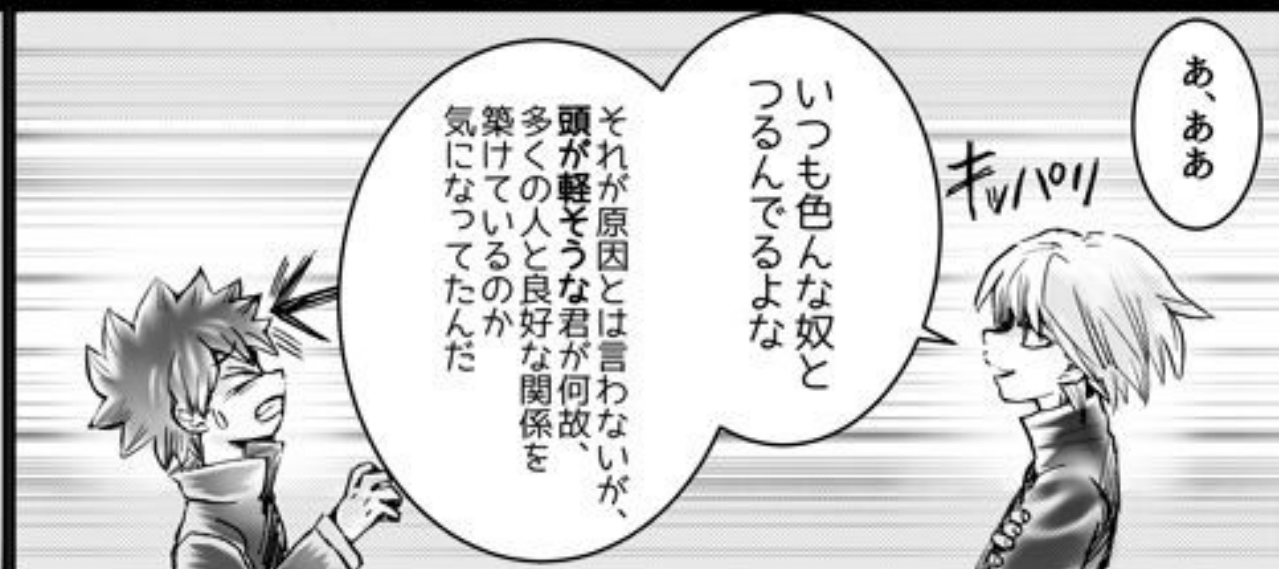
覚えてて
くれたの!?



あ、ああ
お前アキだろ



あ、頭……
軽い……



あ、ああ

キッハッ

いつも色んな奴と
つるんでるよな

それが原因とは言わないが、
頭が軽そうな君が何故、
多くの人と良好な関係を
築けているのか
気になってたんだ



その内僕は

実はただ
グループの中に
埋もれてる状態で……



そう見える
だけだよ



ほ……
本当はね

数の力っていうか
沢山の人という事で
自分の弱さを隠してる
気がして……

だからその…僕…
ヤギリ君に

懂れてるんだ

は？
何でだよ？

君は
強くて
格好いい

お、俺が…？

うん
覚えてるかな？
あの体育の時
皆自分の事で精一杯だった
のに

君はそれでも
僕の手をひいてくれた

僕はすごく嬉し
かったんだ

ヤギリ君は僕の事
グループの一部じゃなくて
一人として見てくれるから

だから僕
その…

もう一度
あの時みたいに

ヤギリ君と
手を繋ぎたくって







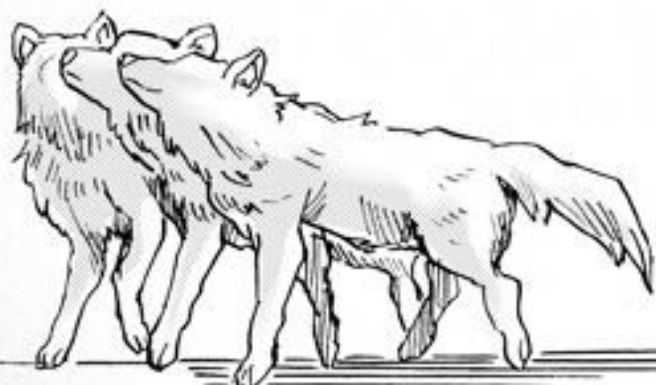
始めは

彼が誰か
気づかなか
ったか



ただ見る限り
彼は俺にとって

全く異なる世界の
人物だと思っていた



その彼が
何故

俺に視線を向けるのか
不思議に思った



そして
あの時手を繋いだ
子だと気付いて



徐々にあいつが他の奴に
向ける視線が
気に食わなくなった



それから
あの視線を
感じる度に

俺は

お前が
群れからはぐれるのを
待っていたんだと
思う



あの後には
何事もなかった
様に俺たちの
関係は続いた

というか……

何も
出来なかった

そして
ずっと忘れられずにいた



あの時

手を繋いだ感触を

抱きしめた時の匂いを



それから
数年後……

俺たちは
別々の場所へ
引っ越した







お前

随分血い
抜かれたな

!?

かほろ



あれえ

でも何で
まだ

!!

人間の
ままだ?



あ

んー
あいつの気まぐれか

あなたは

どうも

昨日、ヤギリの主人に
なったロクだ

人間を吸血しに来た



う、
うわああ！

今日からこの町は
失踪者で溢れるだろうから

あははは
楽しみだ

ふっ

だっ
誰か





—昨夜の事—

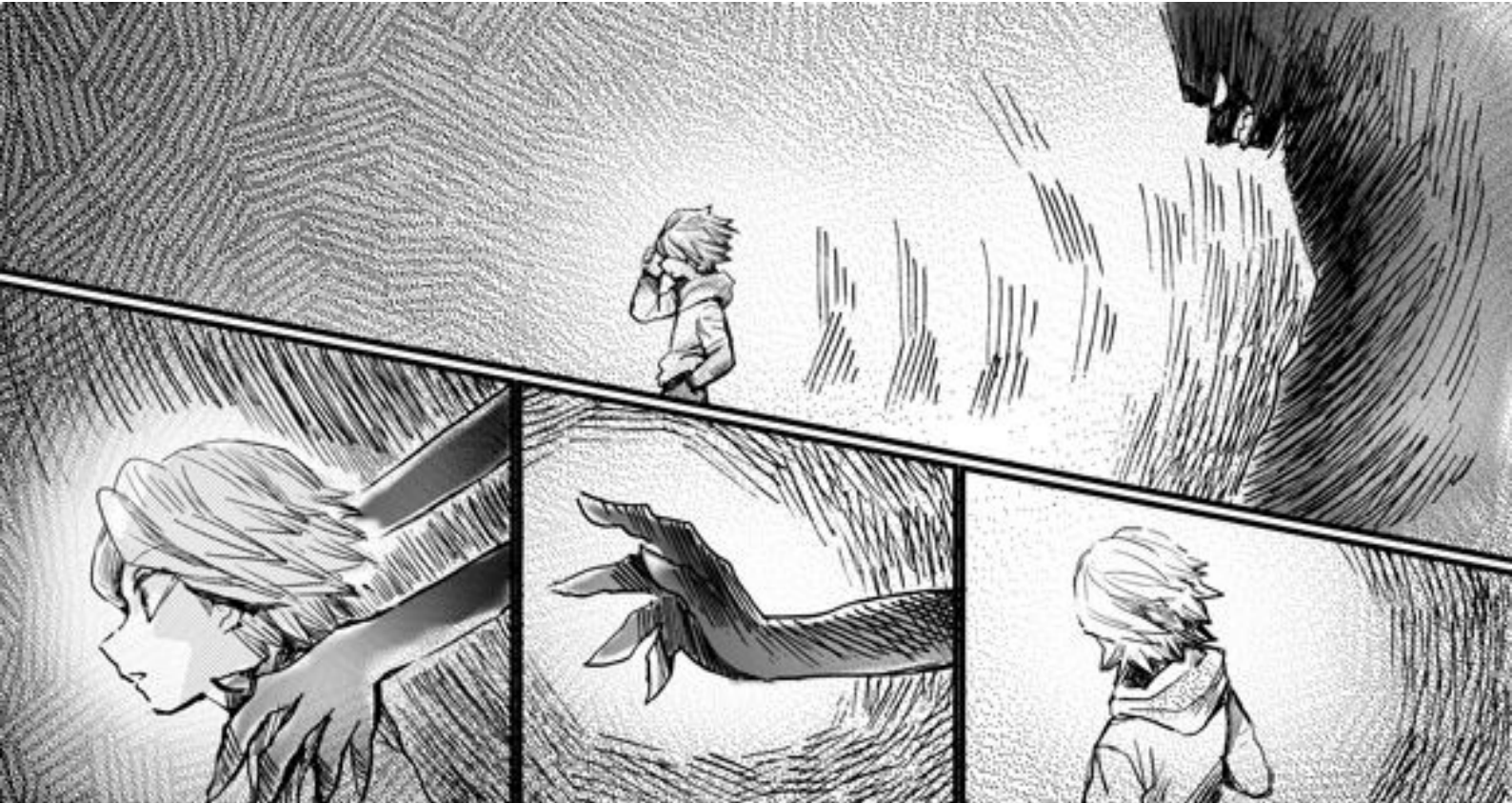
そう、
そっち来たから
明日会おうぜ

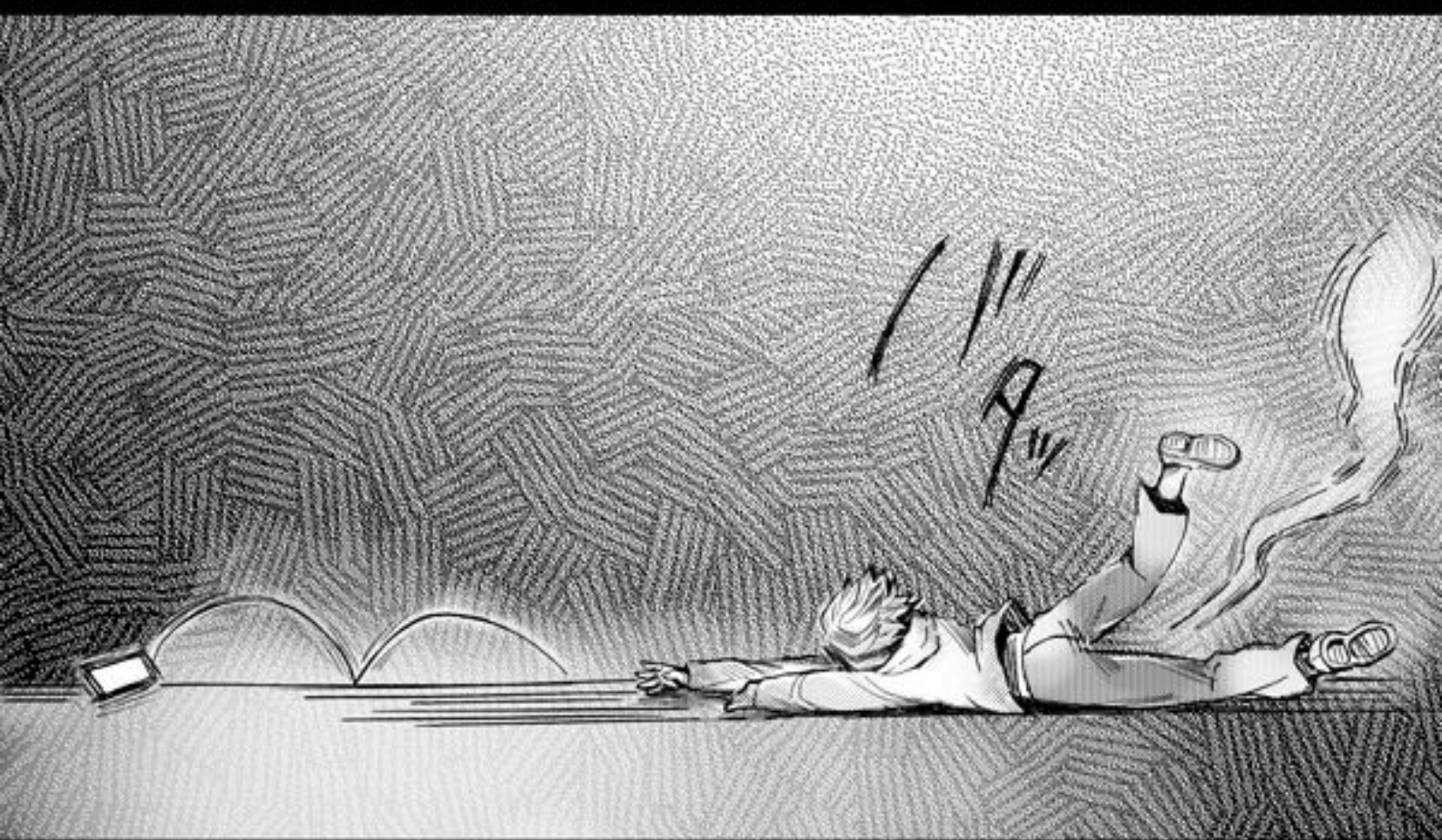
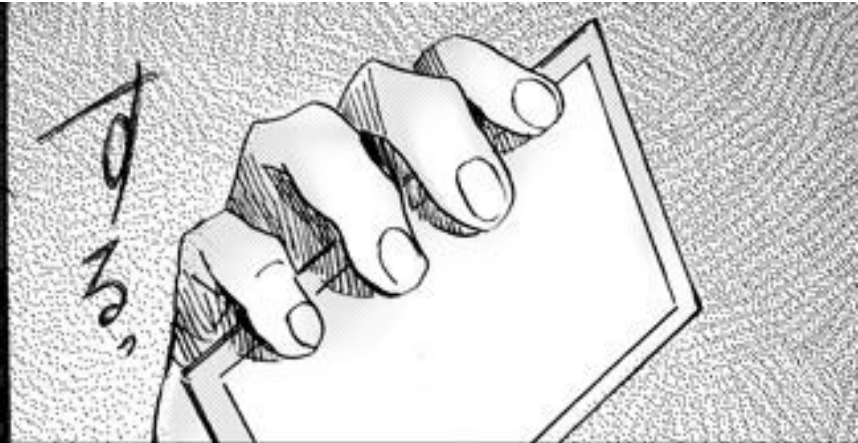
おう

明日

そう







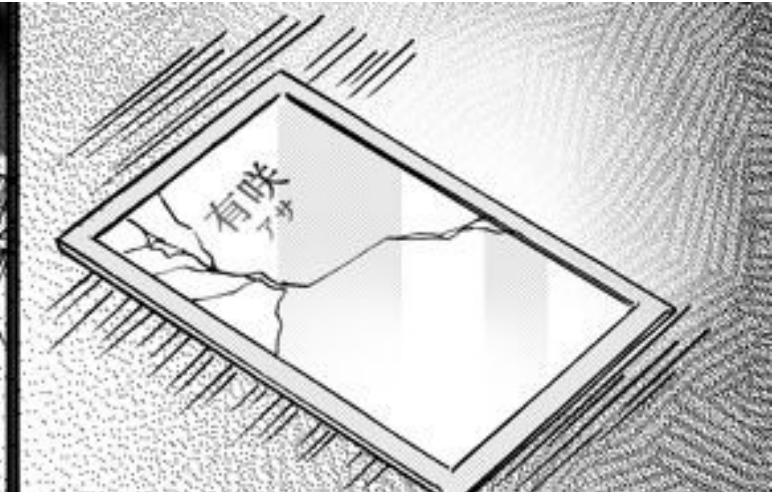
お前は
この町の
犠牲者
第一号だ

はは



特別に

お前の
主人に
なつて
やろう



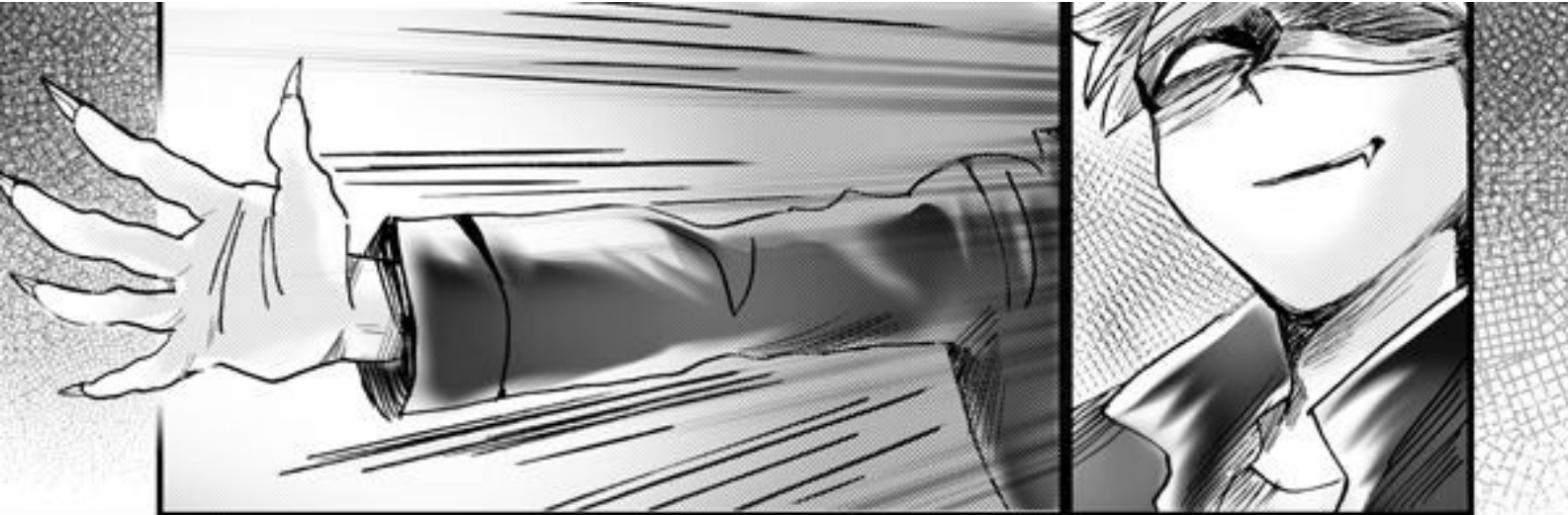


あれ：

アサ
俺はどうしたんだ……？

すう……





何て強い力
なんだ



は、離せ...



お、お願いです

何でもします

ヤギリの傍に
いさせてください



すば、
命乞いかあ
情けねえ

ち、
違います

てっ

提案が
あるんです！



もし僕を
殺さずに
いてくれたら

喉が乾けばすぐ
僕の血をあげます

そうすれば
継続的な喉の渇きに
苦しむ事もないし
……

だ、だから
お願いです



ぷ

はは

笑わせんなよ
人間は腐る程
いるだろうが
ゴミに等しい

俺はそのゴミを
処理しているに
過ぎない

お前はその一部だ
どこに傍に置く価値が
あるんだよ！

そんな
そんな……



そ、そんな事ない
ヤギリは僕を見てくれた

お前みたいにな奴に
僕の事決めつけられて
たまるか！



何だと

耳障りな事
ぬかすな

バラバラに
するぞ

















お前は
少し

暇つぶしに
なりそうだ

だから

さっきの提案
飲んでやるよ



分かるか

これから
お前を
生かす
代わりに

毎日俺のエサに
なるって事

死ぬまで
ずっと

?!

痛っ

お前が
望んだ事なのにな?

やめろ?

やめ
やめ

ひっ

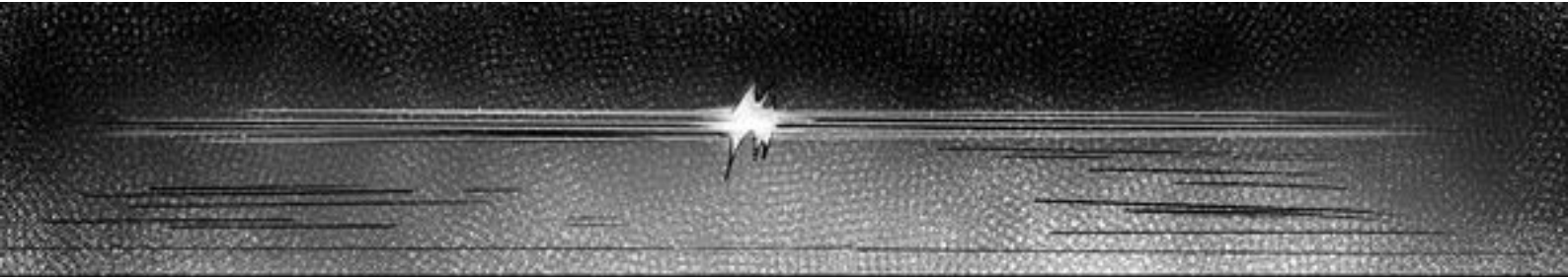
また
動けないのか：

思い知らされる

爪も鋭い牙もない
僕はなんて
非力なんだ



ただ
僕は
ヤギリ
と：

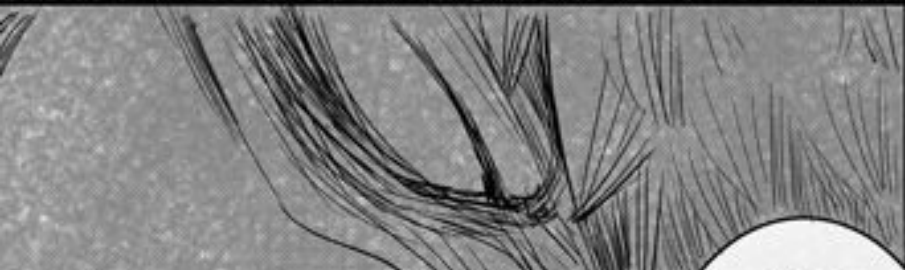


目が
覚めたか？





ど、
どうして……？



何が？
普通の事だろ？

欲……

本能……

快樂だ

ケホ

ケホ



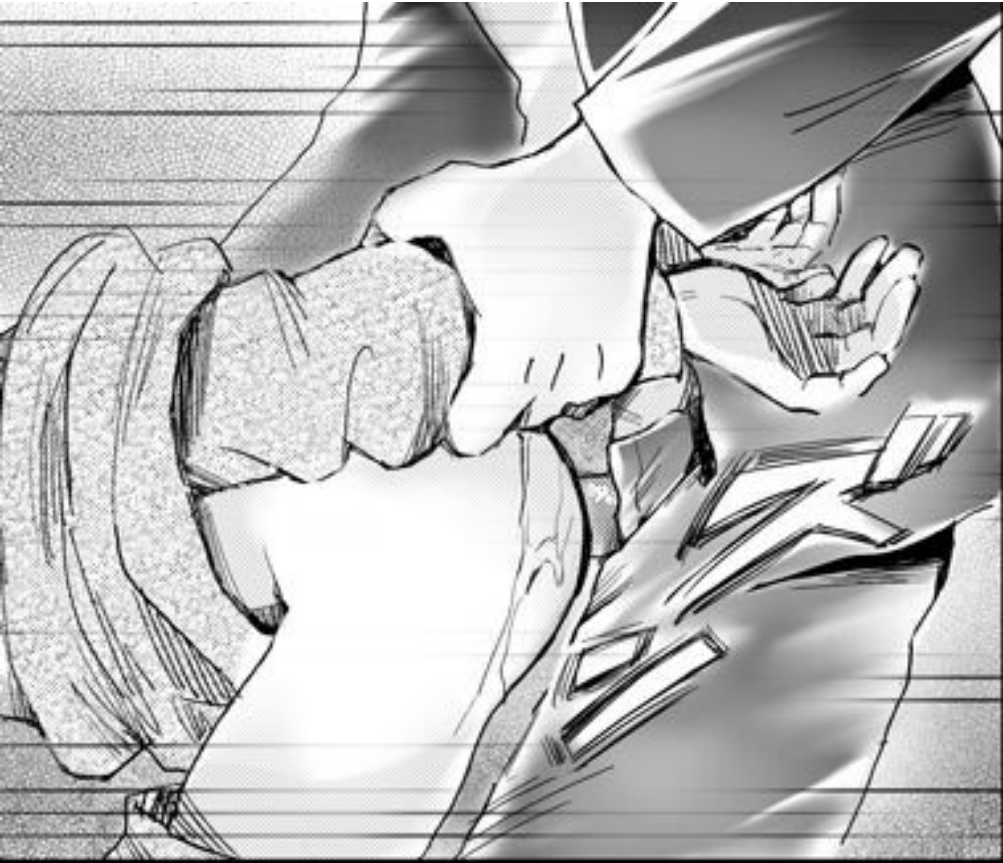


ごめんな
アサ



俺は

主人に
逆らえないんだ











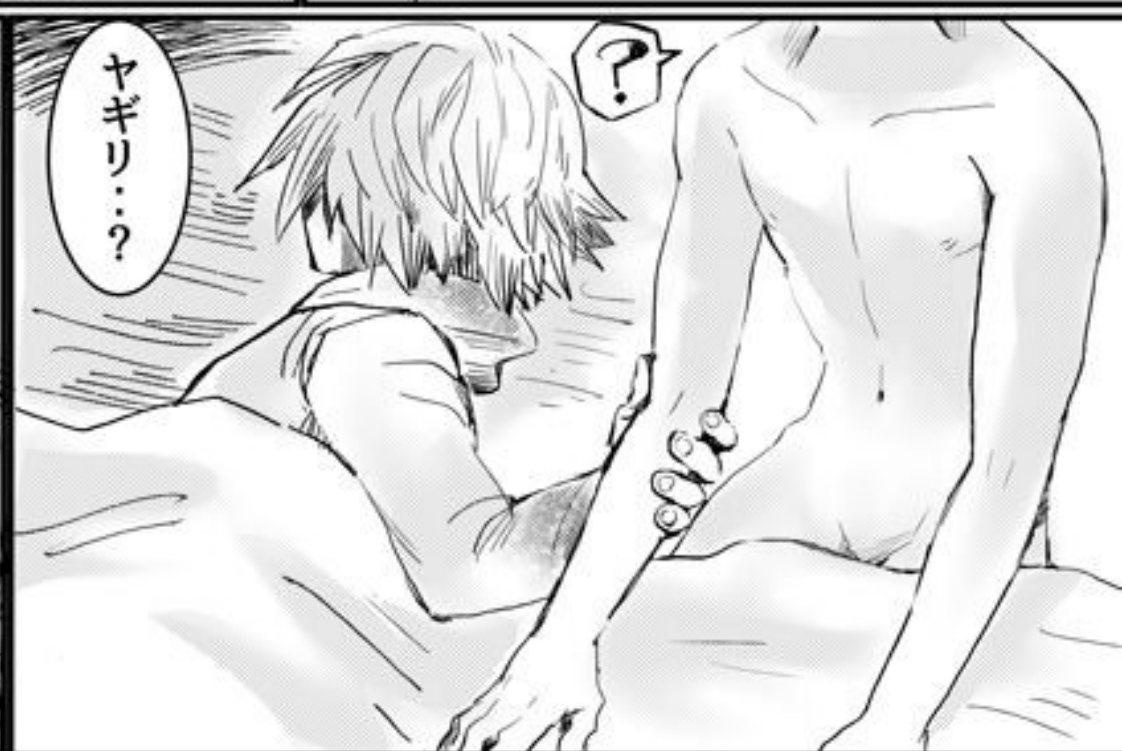






どんな時だろうと
朝はやってくる





お前に
手を出す事も
なかったのに

あんな風に

血が欲しいんだ

人間の
……

いや
アサの

だから
きつとまた何度も

俺は……

アサを求めてしまう

ごめん

ほんと
こんな事に

巻き込んで
ごめん

昨日は
国を離れる
つもりで

お前と話が
したかったんだ



なのに
……



あれからは
血の匂いが
脳にこびりついて

喉が渴いて
しょうがない



ごめん
こんなつもりじゃ
……



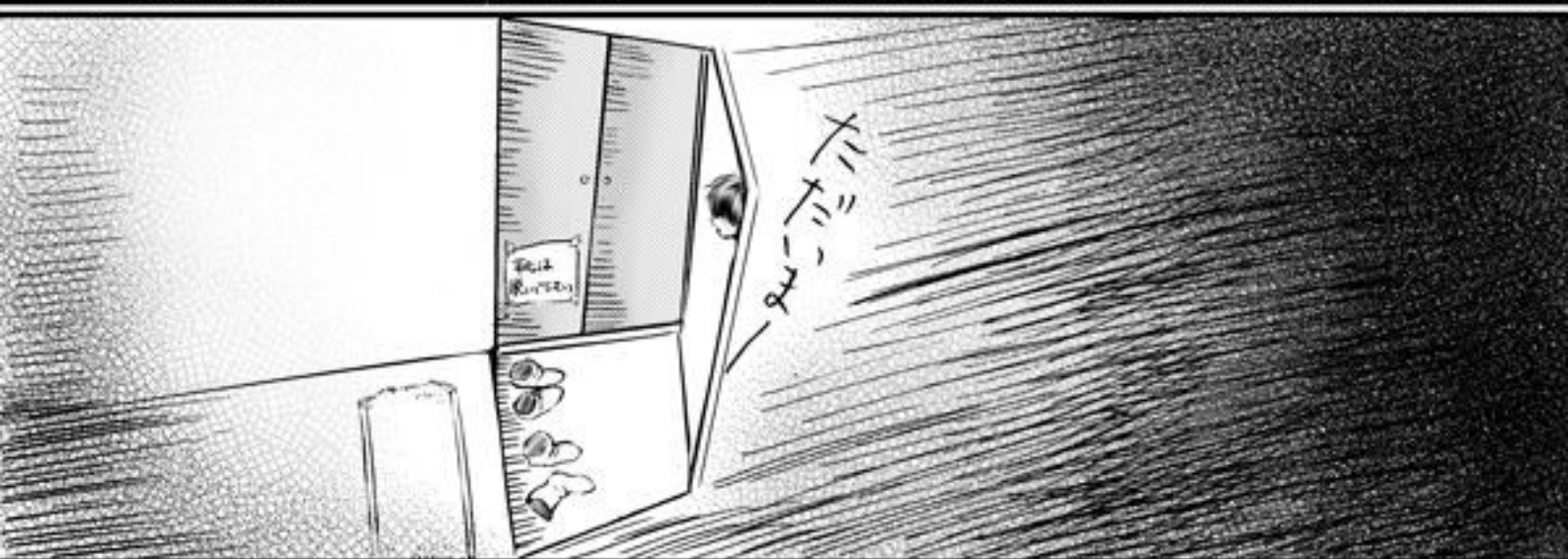
ううん
謝らないで…

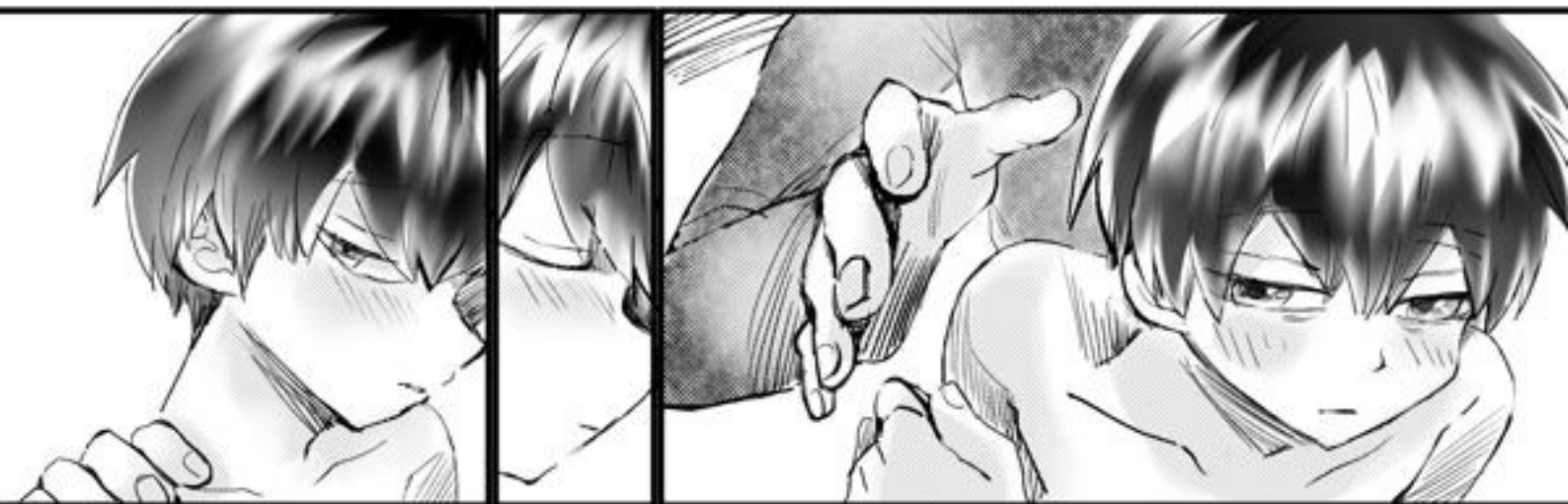


僕を
見てください
…

ありがとう











愛は恋は
正気を奪う

何て
恐ろしいんだろう

愛に飢えた僕は



この状況に
僅かながらにも
満足しているなんて

なんて…

